

薬物の乱用によって大切な人生を
ダメにしないでください。

Do not ruin your life by using illicit drugs.

Prohibited

本学の学生・教職員であることを自覚し、
犯罪行為に関与しないよう強く注意を喚起します。

Any University of Tokyo student or
employee who is found to be engaging
in any criminal behavior will be
severely punished by the University.

学内の主な相談機関
Counseling facilities in the University of Tokyo

保健センター精神科
Clinic for Psychiatry, Health Service Center
(9:15AM~5:00PM on weekday)
本郷/Hongo Campus: ☎03-5841-2578
駒場/Komaba Campus: ☎03-5454-6167
柏/Kashiwa Campus: ☎04-7136-3040

学生相談所
Student Counseling Center
(10:00AM~5:00PM on weekday)
本郷/Hongo Campus: ☎03-5841-2516
柏/Kashiwa Campus: ☎04-7136-3714
駒場学生相談所/Komaba Campus: ☎03-5454-6186

留学生センター 留学生相談・指導部門
International Student Advisory Room, International Center
☎03-5841-2360 (10:00AM~6:00PM on weekday)

学外の主な相談機関
Other counseling facilities

東京都福祉保健局
Tokyo Metropolitan Government, Bureau of social
Welfare and Public Health
・東京都立精神保健福祉センター ☎03-3842-0946
・中部総合精神保健福祉センター ☎03-3302-7575
・多摩総合精神保健福祉センター ☎042-371-5560

千葉県精神保健福祉センター
Chiba Mental Health Center
☎043-263-3893 (9:00AM~4:30PM)
☎043-268-7830/7474 (1:00PM~6:30PM)

東京多摩いのちの電話
Tokyo-Tama Inochi no Denwa
☎042-327-4343 (10:00AM~9:00PM)

東京英語いのちの電話
Tokyo English Life Line
(9:00AM~4:00PM, 7:00PM~11:00PM)
☎03-3498-0232
☎03-3498-0231 (English)

医療機関案内
Medical information service

東京保健医療情報センター(ひまわり)
Tokyo Metropolitan Medical Institution Information
(9:00AM~8:00PM daily)
☎03-5285-8181

本部/教育・学生支援系
Education and Student Support Department
03-5841-2512 or ext.22512
問い合わせ先: 学生支援グループ

CAUTION!

薬物乱用はあなたの体と人生をダメにします。
大麻などの禁止薬物の使用は犯罪です。所持も犯罪です。

Cannabis (marijuana) and Using illicit drugs
can damage your health and ruin your life.

薬物の乱用禁止
Illicit Drug Use Prohibited



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

×一回くらいなら大丈夫・・・
 ×いつでもやめられる・・・
 ×タバコよりも害が少ない・・・
 ×外国では合法・・・
 ×集金で買える・・・
 ×言葉で騙される・・・
 ×I am only trying it just this once・・・
 ×It is less harmful than tobacco・・・
 ×It is legal in other countries・・・
 ×It improves my concentration・・・
 ×Some celebrities also do it・・・
 ×It helps me lose weight・・・

甘い言葉に
 騙されないで!!

Don't be tempted!!

Illicit Drug Use

薬物は一度でも乱用すると中枢神経が冒されて、
 脳や体に深刻なダメージが半永久的に残ります。

友達や知り合いなどから誘われても

はっきり断りましょう!

興味本位、遊び半分で安易に

薬物に手を出してはいけません!

Even using illicit drugs just once can damage
 your central nervous system,
 and have permanent effects on your brain and body.

Even if a friend or acquaintance tempts
 you to engage in such illegal activities, don't!

Don't engage in such criminal behavior
 just to satisfy your curiosity!

日本では、違法薬物の所持、使用、譲渡・譲受、輸出・輸入、製造、栽培等は禁止されています。
 The purchase, possession, use, dealing, trafficking and cultivation of
 illicit drugs are strongly prohibited in Japan.

心身を害するだけでなく、退学処分や社会的地位等を失うことにもつながります。
 Engaging in such illegal activities not only can damage your mental and
 physical health but also can ruin your career and your life.

懲役最高5年 Sentence less than 5 years

大麻 (マリファナ、ハッパ、チョコ)

規制法律: 大麻取締法

症状: 幻覚、妄想など

Cannabis (Marijuana, Hash, Choco)

Regulation: Cannabis Control Act

Symptoms: Hallucinations, delusions, etc.

懲役最高7年 Sentence less than 7 years

MDMA (エクスタシー、バツ、タマ)

規制法律: 麻薬及び向精神薬取締法

症状: 幻覚、妄想など

MDMA (Ecstasy, X, Beans)

Regulation: Narcotics and Psychotropics Control Act

Symptoms: Hallucinations, delusions, etc.

懲役最高10年 Sentence less than 10 years

覚せい剤 (スピード、シャブ、エス)

規制法律: 覚せい剤取締法

症状: 幻聴、幻視、妄想など

Stimulants (Speed, Shabu, S)

Regulation: Stimulants Control Act

Symptoms: Auditory hallucinations, visual hallucinations, delusions, etc.

懲役最高5年 Sentence less than 5 years

違法ドラッグ、脱法ドラッグ

規制法律: 薬事法

症状: 幻視、妄想など

比較的入手しやすく、麻薬、覚せい剤等の乱用の契機となる。

Illicit drugs, Uncontrolled drugs

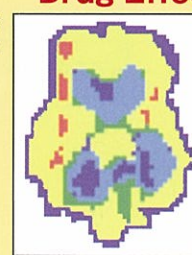
Regulation: Pharmaceutical Affairs Act

Symptoms: Visual hallucinations, delusions, etc.

薬物の脳への影響

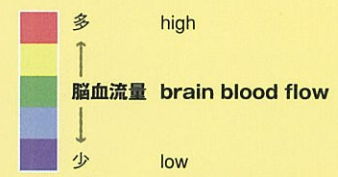
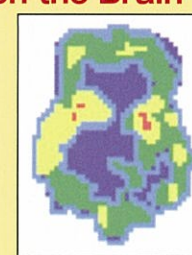
Drug Effects on the Brain

正常
Normal brain



脳血流の分布を示す図。青⇒黄⇒赤の順に血流が多い。
 乱用者ではとところどころ血流が少なく、脳機能の低下が示唆される。

薬物乱用者
Brain of an illicit drug user



This figure shows the distribution of brain blood flow. Higher to lower
 volume of blood flow is color-coded from red through yellow to blue.
 The brain of the illicit drug user shows reduced volume of blood flow
 in some areas, which may imply reduced brain function.

薬物乱用は重大な犯罪です

海外では、コカイン、マリファナ（大麻）等の、日本で規制されている薬物が安易に入手できる地域もあります。最近の薬物事犯の傾向を見ると海外で初めて薬物を体験したという事例が目立っています。

世界中で薬物乱用が深刻化している現在、各国とも薬物犯罪に対しては、厳罰をもって対処しています。麻薬等禁止薬物を取引した場合の刑罰の最高刑が死刑という国もあり、日本人が死刑判決を受けた例もあります。

また、第三者を薬物犯罪に巻き込んだ事例として、

- 薬物を高級茶などと呼称して売りつける。
- 薬物を素知らぬふりをして荷物に紛れ込ませ「運び屋」にしよう。

等の事件が起きています。

自分の所持品の中に薬物が発見されれば、言い訳は通用しません。自分がいくら無罪を主張してもそれを実証することは大変困難であり、世界各地で薬物所持などのために刑務所に収容されている日本人は少なくありません。

薬物犯罪に巻き込まれないために

麻薬などの違法薬物には絶対に手を出さないことはもちろんですが、自分が望まなくても薬物犯罪に巻き込まれる危険もあります。

- 薬物の取引が行われやすい歓楽街などには極力近付かない。
- 興味本位で何か分からないものに手を出さない。
- あまり面識のない人(日本人を含む)から荷物を預からない。
- あまり面識のない人(日本人を含む)を自分の部屋に入れない。
- 自分に近付いてくる相手を冷静に見る習慣をつける。

ことが必要です。

麻薬等のトラブルに巻き込まれた場合には、至急各国の日本大使館・総領事館・駐在員事務所、税関、警察に連絡し、相談してください。自分ひとりの安易な判断は、事態を更に悪化させ、トラブルを拡大することになりかねません。

医療用麻薬及び向精神薬の 携帯輸出・輸入

外国で受診して処方された痛み止めが麻薬であることに気づかず日本に持ち帰ったところ、許可を受けていないため不法所持とされてしまったという事例があります。

自己の疾病治療の目的で、医療用麻薬を携帯して出国（携帯輸出）又は入国（携帯輸入）する場合には、事前に厚生労働大臣の許可を受ける必要があります。許可を受けずに携帯輸出・輸入すると不法所持になりますので御注意ください。

また、自己の疾病治療のための医療用麻薬であっても渡航先に持ち込むかどうか、事前に渡航先国大使館や領事館等にお問い合わせください。

※詳細につきましては関東信越厚生局麻薬取締部にお問い合わせ下さい。

植えてはいけないけしや大麻の種子について

最近、植えてはいけないけしや大麻の種子を海外で購入し、日本国内へ持ち込む方がいます。発芽する種子の国内への持込みは禁止されています。



大麻の種子



植えてはいけないけし

※リーフレットの作成に当たり、関東信越厚生局麻薬取締部及び（財）麻薬・覚せい剤乱用防止センターの御協力を頂きました。

平成21年1月発行 東京都福祉保健局健康安全部薬務課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
☎03(5320)4505(ダイヤルイン)

海外旅行をするみなさんへ
たった1回が底なし沼の恐怖の始まりです。

麻薬、
マリファナ、
MDMAに
御注意!

旅先ではとかく心もゆるみがちになります。そんな心のすき間に薬物の誘惑は入り込んできます。「一度だけなら…」「ちょっとだけなら…」といった安易な考えが、楽しいはずの旅や、人生までも台無しにしてしまいます。「たった一度が命取り」です。「私は薬に溺れない」「私だけは大丈夫」ということはありません。

薬物に関する正しい知識を身に付けて、楽しい旅行をしてください。

乱用される代表的薬物

1 大麻

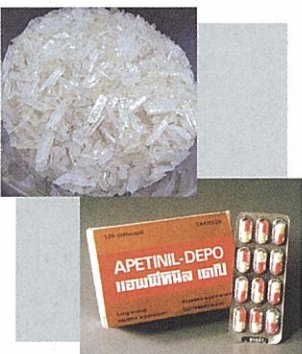
俗称の事例 マリファナ、ハッパ、チョコ、ハシッシュ、ガンジャ、グラス、ブダスティック、ポット、ウィード、……



「大麻草」から作られるもので、煙草のように細かく刻んだものや、樹脂を固めたものがあります。広く乱用されていますが、精神依存性(一度使用したらまた欲しくなる性質)があり、ほとんどの国でその所持が禁止されています。

2 覚せい剤

俗称の事例 エス、スピード、アイス、クラック、クリスタル、デキーズ、ハーツ、ホワイト、メッス、ヤーバー、ヤオトウ、……



アンフェタミン、メタンフェタミンの2種類の薬物を指します。錠剤型のもの、カプセル剤、液剤など、様々な形状で出回っており、あぶり(熱して発生する煙を吸う)や吸引でも広く乱用されています。強い依存性があり、精神や身体をボロボロにしてしまいます。大量に摂取すると死に至る場合もあります。

3 MDMA等の合成麻薬

俗称の事例 MDMA:エクスタシー、エックス、バツ、……
MDA:ラブドラッグ、ヤーバー、ヤオトウ、……



化学的に合成された麻薬で様々な色や形をしたものが出回っています。強い精神依存性があり、視覚・聴覚を変化させ、様々な障害を引き起こします。世界中で乱用が大幅に増加している薬物です。

4 コカイン(麻薬)

俗称の事例 コーク、スノウ、スノウパーズ、ノーズキャンディ、フレイク、ブロウ、ホワイト、……



無色ないし白色の粉又は結晶粉末(化学調味料のような感じ)で、強い依存性がある薬物です。中毒により死亡する例もあります。また、コカインに重曹と少量の水を加えて加熱処理したものは「クラック」と呼ばれています。

5 ヘロイン(麻薬)

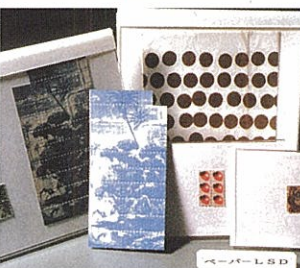
俗称の事例 スマック、ジャンク、ホース、ダスト、チャイナホワイト、ブラックタール、……



「あへん」から作られた薬物で、化学名では「ジアセチルモルヒネ」と呼ばれています。精神依存、身体依存(禁断症状)が生じやすく、しかもその依存性が極めて強い薬物です。

6 LSD(麻薬)

俗称の事例 アシッド、L(エル)、アシッドペーパー、シュガーキューブ、ドラゴン、ペーパー、……



強い幻覚作用があり、精神に障害を起こします。ごく微量で作用を示すため、紙や角砂糖などに染み込ませて使用されます。

7 その他の薬物

1から6で説明したもののほかにも、様々な薬物が乱用されています。

■ケタミン(麻薬)

医薬品としても使用されていますが、「スペシャルK」や「カット」とも呼ばれており、鼻から吸うと幻覚症状が得られることから外国では若者らに乱用されています。

■マジックマッシュルーム(麻薬)

麻薬である「サイロシピン」、「サイロシン」などを含有し強力な幻覚作用を持つ「毒きのこ」のことです。



■向精神薬などの医薬品

医療で使われる医薬品のうち向精神薬(鎮静剤や睡眠薬)は、不正に使用されたり、犯罪に利用されることがあります。そのため、国によっては厳しく規制しています。また、渡航先の国の薬局等で市販されている医薬品の中には、日本で使用が禁止されている成分を含むものがありますので、注意してください。商品名:ヴィックス・インヘラー(鼻の薬)でL-デソキシエフェドリンが含まれているものは、日本では、覚せい剤取締法で規制されています。国内には持ち込まないでください。



■シンナー、トルエン等

海外でも、シンナー、トルエン等の有機溶剤やブタンガス(ライター等のガス)の吸入が社会問題になっています。

薬物についてもっと詳しく知りたい方は、
東京都福祉保健局健康安全部薬務課ホームページ(<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/joho/soshiki/anzen/yakumu/index.html>)
又は、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターのホームページ(<http://www.dapc.or.jp>)をお勧めします。